



波 は が

令和8年7月15日
No.124

小中一貫生活アンケート結果と

子どもたちの生活の様子から

生活部 村上 有貴

早くも真夏を思わせる強い日差しが照りつける今日このごろですが、子どもたちは暑さに負けず、校庭を元気に駆け回って汗を流しています。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より子どもたちの登下校の見守りや、学校教育への多大なるご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

1学期に実施した「小中一貫生活アンケート」の結果と子どもたちの学校での生活の様子から、伸びている点と課題についてご報告します。

伸びているポイント

①規則や時間を意識した行動・毎日の清掃
アンケートの「交通ルールや時間を守れている」「掃除を時間いっぱいがんばっている」「時間を守って行動できている」の項目では、「いつもできる」「だいたいできる」と答えた児童がほとんどでした。掃除時間には高学年を中心にしながら、どの児童も自分の仕事を責任をもって行うことができています。低学年の児童もお兄さんお姉さんの掃除に向き合う姿勢を見て学んでいます。

②「早寝・早起き・朝ご飯」の定着

温かい家庭環境の中で、健やかな成長と日々の活力に欠かせない基本の生活習慣もほとんどの児童にしっかりと身についていることが分かりました。

これからの課題

①あいさつ・言葉遣いについて

アンケートでは、ほとんどの児童は「できている」と答えています。実際には地域の方から「しっかりとできていない」という声があったり、学校でも教師から声をかけないといさつがでない場面が見られたりします。あいさつの質をさらに高めるため、各学年で「気持ちの良いあいさつ」について考え実践する中で、意識を向上させていきたいと思えます。また、生活の様子から、ふとした言葉のやりとりの中で友だち同士のトラブルになることがあり、言葉遣いについても課題を感じることがあります。自分の発する言葉が相手の心にどう届くのか想像し、発言に責任をもつことが大切です。

②スマホ・タブレット・ゲームについて

平日に1時間以上利用する児童は昨年度より10%以上増加し、休日に2時間以上利用する児童は30%を超えています。スマホやタブレット、ゲームの長時間使用は、生活リズムの乱れ、集中力の低下、朝起きられないなどの不調に直結します。

先日、高学年対象の「情報モラル教室」を行い、ネットやSNSでの「メッセージの誤解によるトラブル」「違法動画のアップによる炎上」「ネット依存による生活破綻」などの事例を学びました。児童が強い危機感をもって



真剣に聞いている姿が印象的でした。今一度、ご家庭での利用が「自由になりすぎていないか」を確認し、ルールについても「お子さんと一緒に“考えていただけたらと思います。子ども自身も納得して一緒に決めたルールの方が、守られやすいというデータもあるそうです。使用する時間や場所、夜間の保管方法、安全な使い方などをぜひ話し合ってみてください。

夏休みに向けて『波賀っ子生活目標』

昨年度より、波賀学園の運営委員会・生徒会が中心となり、生活アンケートの結果から自分たちの生活を振り返る活動を行っています。今年度も、低学年・高学年それぞれが考えた改善策をまとめ、『波賀っ子生活目標』を作成し、校内で周知・徹底していく予定です。

7月18日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みがスタートします。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、子どもたちの様子を見守り、励ましの言葉や温かい声かけをお願いします。そして、今後も学校、家庭、地域がしっかりと手を携え、学習にも生活にも、より元気いっぱい挑戦できる「波賀っ子」の育成に取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。

波賀小学校年間行事予定は
以下のQRコードより波賀小HP
にてご覧いただけます。



※兵庫県市の今後の部活動についての情報もHP内「シソカツ推進中」のバナーからご覧いただけます。